

運転禁止薬について

平成 25 年 3 月、総務省より「医薬品等の普及・安全に関する行政評価・監視結果に基づく勧告」が発せられています。

この勧告において、自動車運転等の禁止等の記載がある医薬品を処方又は調剤する際は、医師又は薬剤師からの患者に対する注意喚起の説明を徹底させることとされています。

「運転禁止薬」の一例を表として示しますので処方時の注意喚起をお願いします。

下記表以外にも「運転注意薬」として糖尿病治療薬、降圧薬、抗不整脈薬、泌尿器系薬、抗生剤などが定められていますので併せてご注意ください。

くすりの成分	運転等の障害となる作用
オピオイド系鎮痛薬 ヒドロモルフォン、オキシコドンなど	眠気、めまい
β遮断薬 カルベジロール	めまい・ふらつき
抗精神病薬 アリピプラゾール、クエチアピンなど	眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下
認知症薬 ドネペジル、メマンチンなど	意識障害、めまい、眠気等
鎮咳薬 デキストロメトルファン、コデインリン酸塩など	眠気
消化器系薬 ブチルスコポラミン、ロペラミドなど	目の調節障害等(ブチルスコポラミン) 眠気、めまい(ロペラミド)
眼科用剤 ラタノプロスト	一時的に霧視があらわれることがある (症状が回復するまで避ける)
解熱鎮痛薬、総合感冒薬 インドメタシン、PL 配合顆粒	眠気、めまい、ふらつき感など
抗ヒスタミン薬 クロルフェニラミン、ケトチフェンなど	眠気
ベンゾジアゼピン系、ベンゾジアゼピン類似薬 トリアゾラム、プロチゾラム、ゾルピデムなど	翌朝以後にも影響、眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下
抗てんかん薬 バルプロ酸、レベチラセタムなど	眠気、注意力・集中力などの低下
抗パーキンソン病薬 プラミペキソールなど	前兆のない突発的睡眠、傾眠など
アゾール系抗真菌薬 ポリコナゾール	羞明、霧視、視覚障害など
神経障害性疼痛治療薬 プレガバリン、ミロガバリン	めまい、傾眠、意識消失等

医薬品医療機器総合機構ホームページの表を一部改変